

原料費調整制度について

当社では、ガス料金の透明化を図るために、L P ガスの輸入価格に応じてL P ガスの販売価格を調整する、原料費調整制度を導入しております。当社では毎月調整を行っており、従量料金に対して調整が行われます。L P ガスの輸入価格は、サウジアラビア、北米等の輸出価格（C P ・M B）、為替レート、タンカー運賃等の変動により変わってきます。当社では、L P ガス料金の安定の観点から中東品のL P ガスと北米品のL P ガスの両方を採用しています。調整額につきましては、当社ホームページまたは、検針票にてご確認いただけます。

原料費調整額の算出方法の一例

2019年12月の調整額の算出方法 **-15.2/m³**

基準原料価格 **63,900円/t**

中東品コスト

C P（\$/t） 11月=430 12月=440

合成C P（\$/t）11月C Pと12月C Pの平均 = $(430+440) \div 2 = 435$

合成C P × 為替（前月1日～末日の平均為替） + 中東タンカー運賃（円/t） × 0.75（割合）

$435 \times 109.9 + 6900 \times 0.75 \doteq 41030$

北米品コスト

M B（\$/t） 11月=279.81

米国物流経費（\$/t） 87.0

（M B + 米国物流経費） × 為替（前月1日～末日の平均為替） + 北米タンカー運賃（円/t） × 0.25（割合）

$(279.81 + 87) \times 109.9 + 10350 \times 0.25 \doteq 12666$

※石油石炭税 **1,860（円/t）**

中東品コスト + 北米品コスト + 石油石炭税 + 物流経費

41030 + 12666 + 1,860 + 1,000 = 56556

56556 - 63900 = -7344

-7344 ÷ 1,000 = -7.344円/kg

-7.344 ÷ 0.482 ÷ -15.2円/m³（小数第二位四捨五入）

※0.482はL P ガスのkgとm³間の産気率